

素敵に輝け！

みんなでお祝い

4月21日（木）の朝、校長室にいと突然バースデーソングが聞こえてきました。「どこだろう」と思って飛び出すと、その発信元は4年教室でした。教室に入って話を聞くと「今日はAさんの誕生日」とのことでした。「折角だから、もう一度歌ってよ」とお願いし、写真を撮らせてもらいました。担任の先生がまだ来ていない中でのできごとです。誰かが言い出して「みんなで歌ってあげよう」ということになったのでしょうか。「そうしよう」とみんなの気持ちが一つになって、全員で歌ってあげていたのです。素敵ですね。

「友達を大切に思う気持ち」「仲よしさ」が、こういう形で表出されることがとても嬉しいです。



その歌素敵だね

その後、職員室にいと、今度は「君のこと知らなかったよ」と素敵な歌が聞こえてきました。また飛び出していと、今度は3年教室からでした。

「友だち」という歌で、歌詞に「笑うとき 食べるとき 走るとき 唄うとき いっしょに過ごす いろんな時が とても楽しみだね」とあるとても素敵な曲です。

子供たちの歌を聞きながら、季節や時期を感じたり、「そうだね」とその情景を思い描いたりすることがあります。また歌に心が癒やされたり浄化されたり、励まされたりすることもあります。歌のもつ不思議な力ですね。

以前担任していたクラスで、「先生、ビリーブをみんなで歌いたい」と一人の女の子が言い出し、「じゃ、歌おうか」となったことがあります。その子は、「朝の会」で歌っていた「ビリーブ」の歌詞を心で味わい、ハーモニーにクラスの一体感を感じていたのでしょう。「ビリーブ」の歌を、仲よしクラスの象徴のように受けとめていたのだと思います。だから「ビリーブ」が大好きで、歌いたくなったのです。担任としてはそのまともりが嬉しかったものです。

学校の朝は、爽やかな気持ちにさせてくれるコンサート会場のようなです。各教室での子供たちが感じている味わいを教師も感じて力にしています。



〔3年教室では、Bさんが指揮をしていました〕